

「人吉のまちに偉人記念館+新図書館をつくる構想」案 22-2-17 松本晉一

人吉の夢袋の切符の中に、肥薩線復旧と共に偉人記念館と新図書館創りをいれました。空に昇った夢袋。その夢の中に市民も入っていきます。（「きかんしゃきゅうべえ」の夢袋より）

1、ねらい=創る意義

人吉の街の景観を代表するような建物となること=シンボルタワー、ランドマーク
うわーよかねえ、ぎゃんとが良か、と皆が驚き、皆が喜ぶような偉人館・図書館機能・
避難施設を持つ施設をつくる。一人でも楽しめ、皆で楽しめ、団体や組織、学校が楽し
める場所、知の情報術を学べ、発信が出来る 見せる、見られる、学べる、話せる、伝
える術を持つ情報センター、人間教育・育成の基本となる場所を、被災中心地につくる

2、偉人記念館+新図書館+中ホールの名称案

「本と集いの森・人よし」「知っとる・人吉」「人と本の森・人本」

「人吉文化交流館・おひとよし」

3、その内容

1) 偉人記念館の役割：地元出身この地で活躍した偉人先人たちを発掘展示発信する

ひとよし（=人の良さ）を象徴する偉人先人たちの情報収集、発信、紹介、

2) 図書館機能「こぎゃんことも知らんとね。あぎゃんことも分らんとね」

人吉球磨の自然と球磨川、この地の歴史、文化、産業、言語、芸術他、文化全体を収集
発信紹介。リクリエイティブ・ワーク・センター機能：知育、德育、教育、体育を通じ
て、人間力、創造力、自然力、情操力、意欲、直観力を育てる

3) 情報発信機能：人吉球磨の自然、歴史、文化に関連するすべての情報を集積発信

4) 集会・ホール機能・コンサート、演劇、映画上映、講演などの開催

5) 展示・ギャラリー機能：絵画、美術品、写真等の展示紹介

6) 観光案内・食事休憩機能・郷土品紹介販売機能

7) 避難施設、支援施設、災害情報相談施設

4、規模の例：設計と構造体は使用できる敷地、費用により変動、例として

敷地面積 5000 m²（約 1500 坪） 建坪面積：各階 1500 m²（500 坪） ×3 層程度

1 階敷地部分：主に駐車場 本格木造 3～4 階建て（地面は駐車場）

5、場所：人吉の被災中心市街地、アクセスに便利な場所

例）紺屋町、九日町、大工町、鍛冶屋町地域、人吉市所有地又は共有地

人吉市下新町の旧中津留美術館跡、人吉城内の旧人吉市役所跡

6、機能：新しい図書館+新しい偉人記念館+情報センター+避難施設を集約

7、基本構想提示日：令和 4 年 3 月末

8、完成予想日・使用開始期日 令和 8 年 2 月完成 同年 4 月施設供用開始

9、創設・運営組織名例：新時代の新機能センター「おひとよし」を創る会、「本とつどい
の森」の会